

# 中部環境計量士会だより



2021年12月25日発行

第28号

黒木会員撮影

## 目次

1	2021年度総会報告	2
2	今後の行事予定	5
3	愛知県「水質事故未然防止説明会」開催の紹介	5
3	最近の環境関係法令等の動き	5
4	会員だより	
	「なんとか登った日本百名山 8」	7
	「この1年を振り返って」	9

## 1. 2021年度総会報告

2020年度の総会は、新型コロナウイルス対策として、会議を開くことはせず会員に総会議案の書類を送付し、採決はメール又は郵送で取りました。

### ○ 第1号議案 2020年度収支報告

#### 1) 2020年度行事報告

- (1) 総会 2020年7月時点で新型コロナウイルス感染の収束の見通しが立たないため、会議を開くことはせず、インターネットにより議案を審議することとなった。  
議案の書面を会員へ送り、諮ったところ、e-mailでの回答が27名、郵送での回答が2名あり、いずれの議案も承認された。
- (2) 講演会 コロナ禍が収束せず、2020年度の活動は休止した。
- (3) 見学会 コロナ禍が収束せず、2020年度の活動は休止した。
- (4) 勉強会 コロナ禍が収束せず、2020年度の活動は休止した。
- (5) 懇親会 コロナ禍が収束せず、2020年度の活動は休止した。
- (6) 役員会 新型コロナウイルス禍による外出自粛により、インターネットによる意見交換を開催した。
- (7) 「たより」の発行  
第26号（2020年8月31日）及び第27号（2020年12月25日）を中部環境計量士会ホームページに掲載。
- (8) 「緑野」の発行  
第59号（2021年3月31日）発行
- (9) 講演会等の情報の発信
  - ① 2021年2月27日に愛知県環境部主催の「水質事故未然防止説明会」の案内を会員に発信したが、その後、説明会が中止となり、その旨を会員に連絡した。
  - ② 2021年3月17日～3月31日開催の愛知県環境部主催の「アスベスト対策に関する講習会」（オンライン講習会）の案内を会員に発信した。

#### 2) 2020年度収支報告（別紙1）

### ○ 第2号議案 2021年度役員選出

（敬称略、五十音順）

会長：佐野 教信

副会長：黒木 清篤

幹事：石原 好実、板本 秀一、大井 民男、大蔵 昭英、近藤 浩子、鈴木 全、田中 義身、  
新谷 良英、服部 寛和、山田 雅英、由利 富士雄、吉田 信夫、渡邊 永策

会計：杉浦 世紀子

会計監事：阪野 二郎

### ○ 第3号議案 2021年度行事計画

### ○ 第4号議案 2021年度収支予算（別紙2）

## 一般会計

## 1. 収入の部

単位:円

科目	2020年度予算	2020年度決算	増減	備考
会費	220,000	212,000	-8,000	4,000円×53名
前年度年会費預かり金	4,000	4,000	0	2020年度会費1名分
前年度繰越金	21,190	21,190	0	
その他の収入	0	2	2	定額貯金利子
合計	245,190	237,192	-7,998	

## 2. 支出の部

科目	2020年度予算	2020年度決算	増減	備考
総会費	0	0	0	会場費 *1
役員会費	15,000	0	-15,000	交通費、会場費 *1
印刷費	100,000	66,190	-33,810	コピー代、緑野59号(2021年3月発行)100部 印刷代、振込手数料
通信費	20,000	18,851	-1,149	緑野、勉強会案内等の発送
講演会・勉強会・見学会費	50,000	0	-50,000	講師謝礼、会場費 *2
事務局委託費	20,000	20,000	0	愛環協に支払
ホームページ管理費	12,000	11,220	-780	インターネット管理費、振込手数料
原稿謝礼	20,000	19,000	-1,000	緑野59号・中部環境計量士会だよりの原稿
雑費	5,000	2,475	-2,525	用紙、プリンターインク
HPJリニューアル積立費	0	0	0	
弔慰金	0	10,540	10,540	会員の配偶者様
<b>小計</b>	<b>242,000</b>	<b>148,276</b>	<b>-93,724</b>	
予備費	3,190	88,916	85,726	次年度繰越金
<b>小計</b>	<b>3,190</b>	<b>88,916</b>	<b>85,726</b>	
合計	245,190	237,192	-7,998	

## 積立金

## 1. 収入の部

単位:円

科目	2020年度予算	2020年度決算	増減	備考
前年度繰越金	50,000	50,000	0	前年度繰越金
HPJリニューアル積立費	0	0	0	
合計	50,000	50,000	0	

## 2. 支出の部

科目	2020年度予算	2020年度決算	増減	備考
HPJリニューアル積立費	20,000	0	-20,000	SSLサーバー証明書取得
次年度繰越金	30,000	50,000	20,000	次年度へ繰越
合計	50,000	50,000	0	

\*1 総会と役員会は、新型コロナウイルス感染のリスク回避のため、メールを使って開催した。

\*2 講演会・勉強会・見学会は、新型コロナウイルス感染のリスク回避のため、2020年度は休止した。

## 一般会計

## 1. 収入の部

単位:円

科目	2020年度予算	2021年度予算	増減	備考
会費	220,000	228,000	8,000	4,000円×(54名+昨年度分3名)
前年度年会費預かり金	4,000	0	-4,000	2020年度会費1名分
前年度繰越金	21,190	88,916	67,726	
その他の収入	0	0	0	
合計	245,190	316,916	71,726	

## 2. 支出の部

科目	2020年度予算	2021年度予算	増減	備考
総会費	0	0	0	会場費 *1
役員会費	15,000	15,000	0	交通費、会場費、感染対策資材費
印刷費	100,000	100,000	0	コピー代、緑野60号(2022年3月発行予定) 100部印刷代、振込手数料
通信費	20,000	20,000	0	メールアドレスのない会員向け総会議案・ 勉強会案内、緑野等の発送費
講演会・勉強会	50,000	50,000	0	講師謝礼、会場費、感染対策資材費*1
事務局委託費	20,000	20,000	0	愛環協に支払
ホームページ管理費	12,000	12,000	0	インターネット管理費、振込手数料
原稿謝礼	20,000	20,000	0	緑野60号・中部環境計量士会だよりの原稿
雑費	5,000	5,000	0	用紙、プリンターインク代等
HPリニューアル積立費	0	0	0	
予備費	3,190	74,916	71,726	
合計	245,190	316,916	71,726	

## 積立金

## 1. 収入の部

単位:円

科目	2020年度予算	2021年度予算	増減	備考
前年度繰越金	50,000	50,000	0	前年度繰越金
HPリニューアル積立費	0	0	0	
合計	50,000	50,000	0	

## 2. 支出の部

科目	2020年度予算	2021年度予算	増減	備考
HPリニューアル	20,000	20,000	0	SSLサーバー証明書取得
次年度繰越金	30,000	30,000	0	次年度へ繰越
合計	50,000	50,000	0	

\*1 総会は、新型コロナウイルス感染のリスク回避のため、メールを使って開催した。

(予算の流用)

予算額に過不足が生じた場合には、会長においてそれぞれの科目から流用することができる。

## **2 2021年度の今後の行事予定**

今年度は、新型コロナウイルス感染症が収束をみせないため、各行事は、下記の通りとなりました。

- ・講演会、見学会及び環境計量士国家試験会場でのチラシ配りは中止。
- ・勉強会は、12月以降の状況を見て判断することとなりました。

## **3 愛知県「水質事故未然防止説明会」開催の紹介**

愛知県環境局水大気環境課主催の「水質事故未然防止対策説明会」が開催されます。

日時：2022年2月15日（火） 午前10時～午前11時30分

場所：愛知県三の丸庁舎8階 大会議室 名古屋市中区三の丸2-6-1

参加費：無料（定員80名 事前申込先着順）

定員：80名（申込み先着順）

内容：

- （1）愛知県内における水質事故の概要及び未然防止に必要な対策について
- （2）危険物施設の流出事故防止対策について

主催：愛知県環境局

今後の新型コロナウイルス感染症の状況等により、開催方法を変更又は開催を中止する場合があります。

詳しい情報は、愛知県のホームページをご覧ください。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2021-jikosetumeikai.html>

## **4 最近の環境関係法令等の動き**

### ○「1,4ジオキサンの暫定排水基準の見直しについて」令和3年3月26日 環水大水発第2103261号

1,4-ジオキサンの排水基準について、エチレンオキサイド製造業及びエチレングリコール製造業については暫定排水基準が適用されていた。（適用期間令和3年5月24日まで）

しかし、令和3年5月25日以降はこれらの業種も「排水基準を定める省令（昭和46年総理府令第35号）第1条に規定する排水基準を適用する。

出典：環境省ホームページ「追加された告示・通達等一覧」「水質保全」

URL：<https://www.env.go.jp/hourei/add/e077.pdf>

### ○「亜鉛含有量並びにカドミウム及びその化合物の暫定排水基準の見直しについて」

令和3年9月24日 環水大水発第2109162号

1. 亜鉛の排水基準については3業種が暫定基準を適用されている。（適用期間令和3年12月10日まで）

しかし、亜鉛の対象業種のうち2業種については、令和3年12月11日以降は「排水基準を定め

る省令（昭和46年総理府令第35号）第1条に規定する排水基準（以下「一般排水基準」という）を適用する。なお、亜鉛の1業種（電気めっき業）については、暫定排水基準を5mg/Lから4mg/Lに強化し、適用期間を令和6年12月10日まで延長する。

2. カドミウムの排水基準については1業種が暫定基準を適用されているが、（適用期間令和3年11月30日まで）この対象業種については、令和3年12月1日以降は一般排水基準を適用する。

出典：環境省ホームページ「追加された告示・通達等一覧」「水質保全」

URL：<https://www.env.go.jp/hourei/add/e078.pdf>

## ○ 「水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件の施行及び地下水の水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件の施行について」

令和3年10月7日 環水大水発第2110072号・環水大土発第2110072号

1. 六価クロムに係る基準値の見直し

公共用水域及び地下水の水質汚濁に係る環境基準の六価クロムの基準値を現行の0.05 mg/Lを0.02 mg/Lに改正した。

2. 大腸菌群数に係る環境基準の見直し

大腸菌群数を生活環境項目環境基準から削除し、新たに「大腸菌数」を追加した。基準値は、現行の類型区分とその利用目的の適応性に基づき設定することにした。

3. 施行期日は令和4年4月1日

出典：環境省ホームページ「追加された告示・通達等一覧」「水質保全」

URL：<https://www.env.go.jp/hourei/add/e81.pdf>

## ○ 第十八改正日本薬局方の制定等について 令和3年6月7日 厚生労働省告示第220号

日本薬局方(平成28年厚生労働省告示第64号)の全部を改正する。

出典：厚生労働省「日本薬局方」ホームページ「第十八改正日本薬局方」

URL：<https://www.mhlw.go.jp/content/11120000/000788359.pdf>

関連資料：厚生労働省ホームページ 法令等データベースサービス

「第十八改正日本薬局方の制定等について」令和3年6月7日 薬生発0607第1号

URL：<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000066530.html>

## ○ 「光害対策ガイドライン（改訂版）の策定について」 令和3年3月26日 報道発表

環境省では、屋外照明の適正化等により良好な光環境の形成を図り地球温暖化防止に資することを目的に、「光害（ひかりがい）対策ガイドライン」を平成10年度（1998年）に策定し、平成18年度（2006年）に改訂を行った。

平成18年度の改訂から15年が経過し、この間、LED照明が広く普及するなど地域を取り巻く光環境も大きく変化していることから、光害が及ぼす影響や光害の防止対策について見直しを行いガイドラインを改訂した。

出典：環境省ホームページ「報道発表資料」

URL：<https://www.env.go.jp/press/109341.html>

## ○ 「海洋プラスチックごみに関する各種調査ガイドライン等の公表について」

令和3年6月29日 報道発表

内陸から河川を經由して海洋に流出するごみの量・組成等を経年的に把握するため、地方公共団体や研究機関等で活用されるよう、ガイドラインを環境省ホームページに公表した。

- ・ 散乱ごみ実態把握調査ガイドライン・河川ごみ調査参考資料集・河川マイクロプラスチック調査ガイドライン・漂着ごみ組成調査ガイドライン・海洋漂着物処理促進法に基づく地域計画作成のための手引き・海洋ごみ発生抑制対策等事例集

出典：環境省ホームページ「報道発表資料」

URL：<https://www.env.go.jp/press/109731.html>

## 5 会員だより

### 『 何とか登った日本百名山 8 』

ちようかいざん あさひだけ さおう  
— 鳥海山、朝日岳、蔵王山 —

田 中 義 身

今回は東北地方の15鳥海山、17朝日岳、18蔵王山の三山の記録を紹介します。

いずれの山も最高峰には別名が付いています。出羽富士とも言われる鳥海山は、いくつかの峰を持つ火山で最高峰は新山、朝日岳は朝日連峰の主峰の大朝日岳が最高峰です。蔵王山は火山の連峰で最高峰は熊野岳です。

鳥海山では下山時にちょっとしたことで右足首を捻挫しました。この時は登山靴でなくトレッキングシューズで登ったせいだと思っています。足をひねった時には大したことは無いと思い、そのままバス停まで下って行く間に痛みがひどくなり、内出血もしてきました。半年くらいは違和感が残りました。この時以外は登山中の怪我や病気は有りません。

#### 15 鳥海山 (2236m) 2012年8月10日 (金) 単独登山

雪渓の残っている千蛇谷から最高点の新山を目指しました。大物忌神社のそばから急な岩だらけの山を登り、岩の間を抜けて頂上らしき所に出て頂上標識を探したのですが、見当たらず、そのまま神社の方へ下ってしまいました。そのあと足をくじき、ついていませんでした。

変化に富む山で、御田ヶ原付近には花も沢山咲いていたのですが。



新山山頂

#### [行程]

第1日 新幹線で新潟→酒田駅→バスで鉾立登山口14:55→16:40御浜小屋 (泊)

第2日 御浜小屋5:05→千蛇谷コース→8時頃に新山→往路下山 (足くじく) →御浜小屋10:40→鉾立12:20→バスで酒田駅→三河安城駅



御浜小屋から山頂（夕方）



御浜小屋から鳥海湖（夕方）



千蛇谷（残雪あり）



御田ヶ原

18 蔵王山 熊野岳 (1841m) 2013年10月10日 (木) クラブツーリズムツアー

蔵王山と朝日岳を組み合わせた東京発のツアーに参加しました。

名古屋から東京への行きかえりは夜行バスを利用しました。

山頂駐車場から1時間もかからずに最高峰の熊野岳頂上に着きます。

観光地ですので道も整備されています。良い天気でお釜や周りの山がきれいに見えました。次の日の朝日岳登山に向けての足慣らしといった感じでした。



刈田岳から熊野岳



お釜

17 朝日岳 大朝日岳 (1870m) 2013年10月11日 (金) クラブツーリズムツアー

前泊した小寺温泉朝陽館の料理・ご飯は大変おいしかった記憶があります。登り始めは天気が良く紅葉もきれいだったのですが、そのうち雲が懸り、頂上ではかなり激しい雨となり、大朝日岳の山容も周りの景色も見ることはできませんでした。山をすこし下ると雨は止んでいました。



[行程]

- 第1日 夜行バスで早朝に東京駅→新幹線で福島駅→福島駅からバスで蔵王山頂駐車場12:20→刈田岳12:30→13:25熊野岳→駐車場→バスで小寺鉱泉朝陽館 (泊)
- 第2日 朝陽館4:00→7:10小寺山頂上→10:10朝日岳頂上→往路下山→15:20朝陽館→バスで山形駅 (途中温泉入浴) →新幹線で東京→夜行バスで名古屋へ



小寺山から月山方向



小朝日岳 (紅葉)

『この1年を振り返って』

佐野教信

この2年間、コロナ禍によって世界中が大変な状況に見舞われておりますが、会員の皆様にはご健勝のこととお察しいたします。そこで最近感ずるところを少々述べさせていただきます。

新型コロナに関しましては、昨年12月には東京だけでも3000人を超える感染者を出していましたが、最近では30人に満たないレベルにまで下がっています。このまま消えてもらいたいと願うばかりですが、世界に目を向けると、オミクロン株による感染者数が増大しているようです。例えばイギリスでは12月16日時点で新型コロナによる1日の感染者数が7万人を超え、オミクロン株による感染者数も1万人を超えたと報じられています。

いつ何どき日本でも感染拡大が起きるのではないかと危惧するばかりです。新型コロナはいわば環境衛生に関わる重大問題でありかつ、国内はおろか世界規模で我々の生活や経済活動に重大な影響を及ぼしているので速やかに収束することを願う次第です。

一方で、世界的に重要な課題となっているのが気候変動問題ではないかと思えます。

インターネットを開くと、「地球温暖化のウソ」とか「二酸化炭素と温暖化は無関係」などの標題の記事や書籍が見られますが、これ等が仮に正しいとしても（とは思いませんが）近年異常気象に見舞われていることは否定しようがありません。多発する国内の風水害はもちろんのこと、つい最近の米ケンタッキー州の甚大な竜巻被害や、昨年6月にシベリアで記録された気温38℃というのはまさに異常気象がもたらしたものと言えそうです。翻って、無謀な自然破壊や資源の浪費がこれら異常気象を引き起こしているのではないかと考えざるを得ません。

政治家や経済学者の弁を借りれば「持続可能な経済発展」とよく言われますが、本当に持続可能な経済発展があり得るのかと疑問に思います。経済発展と言うのは少なくとも我々の生活レベルが現在と同レベルかそれ以上に維持されることを意味しますから資源やエネルギーの消費が今より少なくて済むわけがありません。

最近のニュースでもトヨタ自動車は2030年にEV車の生産台数を350万台にして、2035年にはレクサスを100%EVにすると発表しましたが、地元の企業として喜ばしいとは思いますが、EV化が気候変動の解決策になるとは考えられません。世界の趨勢から考えてそうせざるを得ないというところだと思います。

このように、現在ほど環境問題が重要視されている時代は過去になかったと言えるでしょう。そこで、我々のように環境にかかわってきた、または現在かかわっている人たちはこのような状況の中でどのように行動すればよいかと考えるわけですが、色々見渡しますと、とても個人の力ではどうすることも出来ない状況にあると言わざるを得ません。そのような中でも小さいながらも周りの人たちに対し、個人としてまたは団体として何らかの活動が出来ればと淡い希望を抱いているわけです。